

令和8年度 甲奴中学校区小中一貫教育推進計画

I 三次市小中一貫教育基本構想「学びの風土づくりプラン」 発展期

【めざす子供像】

- ① ふるさと三次を愛し、誇りに思う子供
- ② 夢をもち学び続ける力をもった子供
- ③ 社会の一員として積極的に貢献する志をもった子供

II 甲奴中学校区教育目標・めざす子供像

【甲奴中学校区小中一貫教育 教育目標】

ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子供の育成

III 今年度の推進の方針

1 研究推進の柱

- ① ゴールイメージをもって学ぶ，主体的な学びの単元開発
- ② 自らの考えを広げ深める対話的な授業づくり
- ③ 外国語，英語の小中合同研修を教務部会中心に実施

甲奴中学校区小中一貫教育研究主題

ふるさと甲奴を誇りに思い，主体的に学ぶ子供を育てる授業の創造
～主体的な学びを進める単元開発と「対話力」の育成を通して～

《研究仮説》

○主体的な学びを進める単元開発を行い，発達段階に即して「対話力」の系統的な向上を図れば，子供が主体的に学ぶ力が伸びるであろう。

(1) 主体的に学ぶ力を高め，対話力・学力向上を推進する取組〈教務部会中心〉

(研究推進)

- ア ゴールイメージをもって学ぶ，主体的な学びの単元開発の研究推進を行う。各学校の校内授業研修及び年3回の合同研修会に参加して，学び合い対話力を向上させる授業改善を図り，主体的に学び，共に学び高まり合う児童生徒を育成する。
- イ 学力調査の結果を分析し共通課題を共有するとともにとそれをもとにした単元づくり，課題改善を図る単元開発及びゴールイメージを明確にした授業づくりを行う。
- ウ 「対話力」の系統表をもとに，各校の児童生徒実態に合わせためざす対話力の共通認識・理解を図る。また，児童生徒の期待される姿をループリック化するなど評価規準を見直し，児童生徒に示す。
- エ 乗り入れ授業について，教科・時期等を年度当初の計画に位置付け，計画的に行う。

(外国語・英語)

- ア 中学生リトルティーチャー等の異年齢交流や合同行事を小中が協力して行い，自己肯定感を高める。
- イ 甲奴小と小童小が連携し，インターナショナルデーなど英語や外国語活動の指導を充実させる。

- ウ 国際教育を推進し、体験を通して多様性を受容する中でグローバルマインドの涵養や実践的なコミュニケーション力の向上を図る。アメリカス市訪問等の異文化間協働活動を単元のゴール等に活用する。
- エ 英語検定受験を奨励する。

(道徳教育)

- ア 道徳の研修を通し、9年間を見通して「地域を愛し、人から学び、自分を高めることができる児童生徒」を育成する。
- イ 「郷土愛」「努力と強い意志」「友情、信頼」を校区重点項目にして、各校で授業研修を行い、道徳教育推進教師を中心に、道徳の研究実践を推進する。
- ウ 小中合同参観日を行い、保護者、地域に児童生徒の姿を発信する。

(合唱)

- ア 異年齢交流・合同行事による表現力・自己肯定感の更なる向上を図る。小中兼務の音楽担当を中心に、「響く歌声」をキャッチフレーズに発声法を指導し、合唱の力を高め、小中合同合唱を継続する。

(2) 生徒指導の充実〈生徒指導部会中心〉

- ア 『甲奴小中一貫教育』統一目標をもとに指導を継続し、保護者、地域にも伝えて小中共通で実施する。
- イ 「甲奴中学校区生徒指導規程」の見直しを図り、生徒指導規定に基づいた指導と交流を行う。
- ウ メディア利用等の実態把握をし、基本的生活習慣の確立に向けた取組を進める。
- エ 児童、生徒の情報共有や不登校(傾向)の児童生徒の情報についての連携を行う。
- オ 部活動体験等、児童生徒間交流や合同行事を行う。

(3) コアカリキュラム・オリジナルカリキュラムの充実

- ア オリジナルカリキュラムの取組
 - ・ 9年間のつながりを意識し、系統的に取り組む。また、地域の教育力を活かした郷土学習を推進する。
 - ・ オリジナルカリキュラム指導計画に基づき、各校で実践・検証を継続する。
 - ・ 取組の中で、課題解決力を高め、教科等で習得・活用した力をもとに主体的に探究させる。また、情報を整理し表現する力や論理的に説明する力の向上にも意識して取り組む。
- イ コアカリキュラムの取組
 - ・ コアカリキュラム指導計画に基づき、各校で実践・検証を継続する。
 - ・ オリジナルカリキュラムとリンクさせながら実態に沿って、コアカリキュラムの改善充実を図る。

(4) 会員全体の研修の推進

ア 小中合同研修会

○春季合同研修会

令和8年 4月 23日(木) 15:30

○夏季合同研修会

令和8年 8月 6日(木) 14:00

○公開研究・授業参観日【詳細は未定】

令和8年10月 22日(木)

○冬季合同研修会

令和9年 2月 22日(月) 15:30